

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4年 4月 22日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人社団愛友会 /	介護老人保健施設 ケアセンター習志野 /	介護老人保健施設 /
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り /	パラマウントベッド 離床キャッチ付き電動ベッド /	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 3月 27日 /	40台 /	
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b> ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 転倒リスクのある入所者の見守りに使用している。 入所者の身体状況に応じ離床 起き上がり 端座位で設定し1フロア当たり 5〜8 名程度常時ナースコール連動で使用。		
<b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b> ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ※介護時間の短縮については、 介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。 居室に居る転倒リスクの高い入所者について、転倒事故を未然に防ぐことが出来ていると感じる。 知らぬ間に転倒しているかもしれないという不安から解消され、スタッフの介護負担は大幅に軽減。 対象者の日中居室在室時間約9時間中20分に1回の見回り。1回1分を3分の2に軽減できる。9h×3回=27回→9回 平均使用台数25台、30日として 一か月あたりの作業時間 337.5時間→112.5時間=225時間の時間短縮		
<b>【介護ロボットの不都合な点】</b> ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。  特になし		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年6月28日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人社団 総和会	介護老人保健施設 総和苑	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り支援ベッドシステム	エスパシアシリーズベッド (KA-N1411J) (ナースコール中継ユニット含む)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年4月20日	4	
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b> ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  2階フロア2台、3階フロア2台設置。今まで離床センサーを使っていた、就寝時に転倒・転落リスクのある利用者に使用。		
<b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b> ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。  介護ロボット事業よりも前に、ナースコール機器の更新を業者に依頼していたが、半導体不足の影響で、介護ロボット導入時には工事未実施。介護ロボットは、更新後のナースコールに対応した中継ユニットとなる為、まだ実際には稼働していない状況である。		
<b>【介護ロボットの不都合な点】</b> ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4年 6月 8日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人社団 緑祐会	介護老人保健施設 梅香苑	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
①見守り支援 ②見守り支援 ③見守り機器の導入に伴う通信環境整備	①コールマット・コードレス (HC-R) ②ベットコール・コードレス (BC-RN) ③インカム・Wi-Fi 導入関連 (クリアカム・法人向け 11ac2×2デュアルバンド無線 LAN アクセスポイント)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
①②令和4年2月18日 ③ 令和4年4月30日	① 5台 ② 2台 ③ 一式	
<p>【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>【コールマット】認知行動によるベットからの転倒・転倒に対し、ベット上と床での使用をご利用者の状態に合わせて使い分け、事故のリスク回避に取り組んでいる。</p> <p>【インカム】利用者様ご家族様が面会に来苑した際や洗濯物を持参して頂いた際に、インカムで介護職員に情報共有し、準備や洗濯物の受け渡しでご家族様をお待たせしない様にする。職員に一齐に連絡事項がある場合、コンソールボックスを使用し一齐送信する。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>※介護時間の短縮については、  <u>介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。</u></p> <p>【コールマット】機器を導入したことで不要な巡回 (心配な為確認する等) が減少し、職員の体力的、精神的な負担軽減に繋がっている。(夜勤時のラウンド: 3分×7台=21分程度) また、コードレスのマットを導入した為、利用者様、職員が躓く心配がなくなった。</p> <p>【インカム】電話で行っていた職員間の連絡が電話まで行かずに手持ちのインカムで素早く連絡が取れる。また、電話付近にいない職員を探すことなく、インカムで情報共有ができる。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること</p> <p>【コールマット】ナースコールが違う製品に替わった場合、ジャックの形状が異なる為、現行のセ</p>		

ンサーが使用できなくなってしまう。

【インカム】利用者様を介護、処置する際にイヤホンとマイクのコードが邪魔になり、引っかかるとイヤホンが耳から落ちてしまうため、無線式の Bluetooth に変更したい。

会話をするためには、マイクのボタンを押さなければならない為、処置中や介助中など手が離せない時に呼ばれても返事が出来ない。

(別紙 2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4年 6月 16日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人旭福社会	地域密着型介護老人福祉施設 やすらぎ園きらめき	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
① 見守り ② 見守り機器の導入に伴う 通信環境整備	① 見守り支援ベッドシステム 眠りSCAN NN-1320P ② IP無線機 (Wi-Fi対応) IP無線機 IP200H	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 4月 28日 令和 4年 5月 31日	① 1台 ② 一式	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>認知症の方、不眠で転落、転倒リスクのある方に夜間使用しています。 不眠の方は睡眠のパターンをデータ化して特に見守りが必要な時間を把握すると共にパソコン画面にてリアルタイムに本人の状況を確認しています。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>眠りSCANは夜間不眠状態で神経内科を受診されている方を対象に使用しています。今までは夜間起きだすことが多く事故の危険性あり巡回をこまめに対応していたが職員の負担が多くありました。また、他者の見守りや対応もあったので決まった時間に訪問することも難しい状況でした。今回、眠りSCANを使用し、本人の入眠データが確認でき、どの時間で覚醒しているのかデータ化すると共にリアルタイムで見守りが可能となることで必要に応じて巡回へと変更が可能になった為、職員の負担は以前に比べ軽減できています。また、同時導入したインカムを利用することで他者の対応中でも他職員に巡回依頼をすることで直ぐに駆けつけることが可能となっている。日中は職員間の情報共有をインカムで行い、応援や様々な連絡をリアルタイムで行うことができています。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年5月11日

法人名	介護サービス事業所名	介護サービスの種別
社会福祉法人 泉寿会	特別養護老人ホーム いずみ苑	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り支援ベットシステム	エスパシアシリーズベット KA-N1410R ナースコール中継ユニット UN-1610	
介護ロボット導入時期	導入台(セット)数	
令和4年4月27日	10台	
<b>【介護ロボットの使用状況(使用する業務・使用頻度等)】</b> ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 当施設の10台稼働を導入稼働。 ベット臥床時の入居者動きに対しセンサーが反応する仕組みの為、使用入居者は認知症が重度であり夜間に多動行動が見られ、かつ歩行ができない(難しい)入居者がベットより起き上がり時に転倒をしやすい方利用している。		
<b>【介護ロボットの導入効果(導入による業務改善状況等)】</b> ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 多動な入居者の夜間帯の巡視とは軽減。※多動入居者へは、通常巡視とは別に特別巡視も行っていたが、センサーが動きだし初めに反応をし、ナースコールがなる為、特別巡視の時間は軽減している。又、転倒前に対応が出来る為、アクシデントの軽減に繋がっている。 特別巡視:夜間6回(1回10分程度)60分かかっていましたが、導入後は行っておりません。		
<b>【介護ロボットの不都合な点の課題】</b> ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 現在、センサーの誤反応等なく問題なく使用できている。 不都合な点は見当たらない。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年4月15日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人九十九里ホーム	介護老人保健施設 日向の里	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守り支援ベッドシステム (KA-N1411K NU-3200)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年4月6日	2台	
<p><b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b>            ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。            ベッドからの転倒及び転落のリスクの高い入所利用者に対し、離床動作を検知する見守りシステムを導入したことにより、特に夜間の介護職員の負担軽減と入所利用者の事故リスクの軽減に大きく寄与している。</p>		
<p><b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b>            ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。            ※介護時間の短縮については、  <u>介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。</u>            ・従来のマット式センサーにより発生していた誤報による介護職員の対応する回数が減少し、介護職員の負担軽減につながっている。/            ・24時間常に転倒及び転落のリスクの高い入所利用者に使用している。</p>		
<p><b>【介護ロボットの不都合な点】</b>            ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。            見守り支援ベッドで設定できる体重によっては（体重が低い）動作が検知できないことがある。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和4年4月15日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人九十九里ホーム	介護老人保健施設 ミス・ヘンテ記念ケアセンター	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守り支援ベッドシステム (KA-N1421K NU-3200)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年4月8日	2台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>ベッドからの転倒・転落のリスクの高い入所利用者に対し、離床動作を検知する見守りシステムを導入したことにより、特に夜間の介護職員の負担軽減と入所者の事故リスクの軽減に大きく寄与している。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>※介護時間の短縮については、</p> <p>介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来のマット式センサーにより発生していた誤報による介護職員の対応する回数が減少し、介護職員の負担軽減につながっている。</li> <li>・24時間常に転倒及び転落のリスクの高い入所利用者に使用している。</li> </ul>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>見守り支援ベッドで設定できる体重によっては（体重が低い場合）動作が検知できないことがある。</p>		



(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和 4年 6月27日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 慶美会	特別養護老人ホーム 慈祐苑	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り支援機器	エスパシアシリーズベッド KA-N1411J	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 5月27日	10台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>転倒、転落の危険性が高い方に使用し、ご利用者の特徴に合わせて細かい設定（起き上がり、端座位、離床、見守り）を行うことで未然に転倒、転落を防止するために使用します。</p> <p>ナースコールに連動しており、夜間帯にトイレへ自力移動で歩行不安定な方に使用することで、職員の把握ができ負担軽減につながっています。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マットセンサーなどの物理的なものを使用しなくなったため、つまずきや転倒のリスクがなくなりました。</li> <li>・見守り支援機器導入により、多動な利用者への見守り居室訪問回数の軽減が図られ職員の負担軽減となっている。</li> <li>・利用者の筋力低下</li> </ul>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在のところ特に不都合な点はありません</li> </ul>		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

令和 R4 年 5 月 27 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 佐倉厚生会	特別養護老人ホーム さくら苑	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
①見守り支援 ②見守り機器導入に伴う通信 環境整備	①パラマウントベッド エスパシアシリーズ KA-N1411R ②ナースコール中継ユニット NU-3200	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4 年 4 月 22 日	①② 2 台ずつ	
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b>		
排泄や離床等をナースコールで伝える事が困難な利用者のベッド臥床時における見守り支援を目的として使用しております。		
<b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b>		
以前は排泄等をナースコールで伝える事が難しい利用者に対し、センサーマットを使用、ベッド脇の床に敷き、見守り支援を行っておりました。介護職員が訪室する前に立ち上がりや歩行をするなど、転倒される方がおりました。 導入後は利用者それぞれの起き上がり動作に合わせてナースコールが連動し、利用者にとっても違和感なく離床を察知できる為、利用者のベッドからの転落、転倒事故の防止となり、また、介護職員にとっても、見守りのための訪室回数が減り、負担軽減につながっております。		
<b>【介護ロボットの不都合な点】</b>		
導入後から現在まで不都合な点はございません。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和4年5月20日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人慈心会 /	特別養護老人ホーム緑苑 /	介護老人福祉施設 /
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り /	眠り SCAN NN-1320 /	
介護ロボット導入時期	導入台数	/
令和4年4月19日	16台	/
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b> ・見守りが必要な利用者や歩行不安定な状態の利用者に使用中。マットレスの下に敷いて24時間体制でPC、iPod画面にデータを受信している。夜間の睡眠、呼吸、心拍等のモニタリング実施。 ・看取り対応をおこなっている入居者に24時間体制での睡眠、呼吸、心拍等のモニタリング実施。 /		
<b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b> ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・モニタリングをおこなった入居者の睡眠、呼吸、心拍数をもとに睡眠状態や覚醒状態が把握でき、夜勤者の心理的負担や見守り業務の効率化が図れた。昼夜逆転傾向になっている入居者へのアプローチやケアプラン見直しにも繋がった。 / ・看取り対応の入居者は随時状態把握ができ、職員の精神的な負担軽減とご家族へ随時状態報告がおこなえた事によりご家族も喜ばれていた。		
<b>【介護ロボットの不都合な点】</b> ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 ・時々、受信データと実際の入居者の状態にズレが生じている事がある。 （実際は離床しているのにモニター上では臥床中等。）		

(別紙 2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4 年 5 月 2 0 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人慈心会	ショートステイサービス緑苑	短期入所生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	眠り SCAN NN-1320	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4 年 4 月 1 9 日	4 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】		
・見守りが必要な利用者や歩行不安定な状態の利用者に使用中。マットレスの下に敷いて 24 時間体制で PC、iPod 画面にデータを受信している。夜間の睡眠、呼吸、心拍等のモニタリング実施。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】		
・モニタリングをおこなう事により夜勤者の見守りや訪室の業務効率化が可能になっている。 ・睡眠状態や呼吸、心拍数を職員全体で把握でき、ご家族やケアマネジャーに利用状況が報告できている。		
【介護ロボットの不都合な点】		
・特になし。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年5月20日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人慈心会	小規模多機能型居宅介護みどり	小規模多機能型居宅介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	眠り SCAN NN-1320	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年4月19日	2台	
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b> ・ 宿泊サービス利用時、見守りが必要な利用者や歩行不安定な状態の利用者に使用している。マットレス下に敷き24時間体制でPCとiPod画面にデータ受信をして表示している。夜間のバイタルサインの確認と睡眠状況の確認をしている。		
<b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b> ・ 臥床時にリアルタイムで睡眠状況や呼吸、心拍数を把握することにより職員の心理的な負担が軽減できている。 ・ ご家族への情報提供がおこなえ、利用時の状態も説明する場合は役立っている。		
<b>【介護ロボットの不都合な点】</b> ・ 特になし。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年 5月25日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 自洲会	特別養護老人ホーム志津ユウカリ苑 (ユニット)	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守り支援ベッドシステム (パラマウントベッド株式会社) ベッド本体型式 KA-N1511G	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年 5月 20日	2台	
<p><b>【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】</b></p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>施設では毎年重度化が進み、夜間不眠の方や転倒のリスクの高い方が増加しています。特に夜間の見守りについては少ない人員配置での対応となるためセンサーは非常に重要なアイテムです。特に新規に入所した方についてはしばらく落ち着かない状態となるため見守り支援ベッドを積極的に導入して夜間の行動の把握を行っています。</p>		
<p><b>【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】</b></p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>通常の細かい設定の出来ないシート型の離床センサーを使用している方と比較した結果、バラツキはあるものの夜間の訪室回数は少なくなっている。比較すると2~3割の減となっているようである。</p>		
<p><b>【介護ロボットの不都合な点】</b></p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>最近では特養の入所者について、看取りのニーズが増えている。センサー付きベッドについても離床という効果だけではなく、安定した状態ではなく終末期の非常に弱いバイタルについても感知できるようなセンサーが連動しているとこれから活用できると思います。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4年 5月 18日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 聖心会	特別養護老人ホーム明尽苑	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
①入浴支援	①イウラ リフト付きシャワーキャリー LS-350	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 5月 18日	①4台	
<p><b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b>                  ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。                  ①入浴業務において、導入前は2人支援が必要であった利用者を1名で入浴することが可能となり、職員の身体的及び時間的負担を軽減することができた。また、今まで浴槽につかることができなかった利用者（抱えて入浴させるのが困難）も浴槽につかることができるようになった。</p>		
<p><b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b>                  ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。                  ※介護時間の短縮については、                  介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。                  介護時間の短縮について1ユニットあたり、                  介護ロボット導入前 入浴支援時間 40分/人×3人/日×30日/月=3600分/月（60時間/月）                  介護ロボット導入後 入浴支援時間 30分/人×3人/日×30日/月=3000分/月（50時間/月）                  よって、機器導入により10時間/月×4ユニット=40時間/月の時間短縮になっている。</p>		
<p><b>【介護ロボットの不都合な点】</b>                  リフトアップして、浴槽に移動するとき、足が浴槽の縁と接触するので注意が必要である（足を上げて乗せる機能があると良い）</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4年 6月 1日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 清和園	セイワ若松ショートステイサービス	短期入所
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	離床センサー付き超低床ベッド エスパシアシリーズ	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 4月 20日	2台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>認知症によりナースコールの説明をしても「押して職員を呼ぶ」ことの出来ない利用者に使用している。特に夜間～朝方にかけて排泄（トイレ）の際の移乗に介助を要し、自力で行なうと事故リスクが高い方の状態観察の把握のために使用している。</p> <p>（毎夜使用 4回/日 ～ 10回/日 起き出し）</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>介護職員室にモニターが無く起き出しを把握しきれず、ベッド脇で転倒したり、尻もちをつく事故を繰り返していたが、導入後はすぐに起き出しを把握できるようになった為、リスクの軽減に繋がっている。</p> <p>夜間は介護者が2名しかいないため、機器導入により介護者の精神的負担も大きく軽減している。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>操作も簡単で使いやすく、とても重宝している。</p>		



(別紙 2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4年 5月 12日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人清和園	特別養護老人ホーム清和園 (ユニット型)	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守り支援ベッドシステム エスパシアシリーズ KA-N1411R	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 4月 21日	4台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>ご利用者様の臥床時の動作を検知し、ナースコールと連動することにより見守りを行っている。低床ベッドのため、転落の防止に役立っている。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>※介護時間の短縮については、 介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。</p> <p>ベッドセンサー内蔵であり、別にセンサーを設置する必要もない。施設にあるセンサーが有線なので、断線の心配もなく介護職員の業務負担の軽減となっている。特に人数の少ない夜勤時、利用者の動きにより即時に対応することが出来ることから職員の肉体的・精神的負担の軽減となっている。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>現在のところ特に不都合な点はありません。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年5月30日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 富裕会	特別養護老人ホームゆたか苑	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	パラマウントベッド ① エスパシアシリーズ離床キャッチ(KA-N1411C) ② エスパシアシリーズ離床キャッチ超低床 (KA-N1471C)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年4月22日	① 3台 ② 2台	
<b>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</b> ① 認知症のある方で夜間トイレのために自ら歩いて行かれたり、車いすに移乗時に転倒転落する恐れがあるため職員見守りや付き添いが必要であった方を対象に夜間帯に使用 ② 認知症のある方で特に体動が激しく、転落転倒リスクが特に高い方で畳ベッドを使用している方を対象に臥床時（昼、夜間共に）使用。		
<b>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</b> ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ※介護時間の短縮については、 介護ロボット導入前に要していた時間数 → 導入後に要している時間数を記載すること。 ① 導入後、センサーが反応することで職員が駆け付け転倒転落の防止はできている。 また、いつトイレに行くかわからない不安もあったが、職員の精神的負担も軽減した。 ② 導入後はセンサーが反応することで職員が駆け付け転倒転落の防止はできている。 また、いつトイレに行くかわからない不安もあったが、職員の精神的負担も軽減した。また、畳ベッドからのトランスは職員2名で行い身体的にも負担が大きかったが、大きく軽減された。		
<b>【介護ロボットの不都合な点】</b> ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 以前購入した介護ロボットより精度はアップしているが反応しない時があった。手元のリモコンスイッチがベッドサイドから出ており、頭側から出ていると操作しやすい場合がある		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 4年 7月 1日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人ひまわり会	ショートステイサービス 花見の里	短期入所生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
① 見守り	① エスパシア KA-N1471H	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 4年 5月 18日	4台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  動きのあるご利用様を対象にして、ベット上に設置し、日中及び夜間の行動を把握することで行動が予測でき、転倒や転落等の事故を防止することができている。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。  離床や端座位などご利用者様の状態に合わせた設定で、動きを検知してナースコールが鳴ることにより効率の良い見守りができるようになり、様子を事前に確認することができ、転倒や転落等の事故が防止できている。 また、ベッドの角度や高さが3パターン設定可能な為、おむつ替えなどで角度や高さを変えてもボタン一つで設定してある状態に戻せるため、一人に係る介護時間の短縮につながっている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。  特にありません。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和4年 5月 21日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 松栄会	ショートステイひまわりの丘	短期入所生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
①見守り支援 ②職員間の情報共有や職員の移動負担を軽減するなど効果・効率的なコミュニケーションを図るためのインカム	①見守り支援ベッドシステム ②デルタパス	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年5月31日	①4台 ②1式	①¥269,400×4台(本体価格・税抜き) ②¥2,743,200(本体価格・税抜き)
【介護ロボットの使用状況(使用する業務・使用頻度等)】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ①ショートステイひまわりの丘の居室にて、令和4年4月28日より導入して、見守り支援ベッドシステムを活用し、より一層、夜間の介護職員の軽減に役立っています。②ショートステイひまわりの丘において、インカムを活用し、介護職員、看護職員、生活相談員との連携がリアルタイムにわかり、情報共有を円滑に行うことができています。		
【介護ロボットの導入効果(導入による業務改善状況等)】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ①見守り支援ベッドの導入によりベッド上での転落等の事故を未然に防ぐことができた ②利用者の離床のタイミングにあわせて、見守りや介護が行えるため、職員の精神的負担が少し緩和された。 ③見守り支援ベッド支援システムが導入4台/20人中なので、夜間の介護職員の負担が20%の解消ができた。 ④インカム導入後、複数の職員で、リアルタイムで情報共有することで、円滑な情報伝達することができた。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 ①見守り支援ベッドを導入しているベッドと導入していないベッドがあるため、20人中4台で(20%)導入なので、まだ全ベッドではなく、フルに対応できないのが、不都合な点である。②インカムをしていない職員がいるので、パートさんも含めて活用できていないのが、不都合な点である。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

## 介護ロボット使用状況報告書

令和4年5月30日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 松涛会	特別養護老人ホーム太陽と緑の家 短期入所生活介護	短期入所生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	センサーカメラ NLX-CA	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和4年5月24日	1台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>認知症が強く、徘徊等転倒リスクのあるショートステイ利用者がある場合に、カメラが設置してあるお部屋を利用してもらっている。よって、使用頻度としてそれほど頻繁にあるわけではないし、実際導入してからの使用期間が短いので実績が少ない。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>見守りカメラを通じて転倒する前に駆け付けることが可能となったので、転倒リスクの軽減が図られた。また、それに伴い介護職員の精神的負担軽減につながった。</p> <p>従来、認知症の方の様子を見る為、頻回にお部屋を訪れる必要があり、そのことで、かえって利用者が不穏になってしまうケースもあった。</p> <p>しかし、見守りカメラ導入後、頻回にお部屋を訪れる必要がなくなり、1日1時間位かかっていたお部屋での様子を見に行くトータル時間が、導入後30分位に軽減できた。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>利用者のプライバシーが関与するので、むやみやたらに見守りカメラの利用はできないし、利用者（家族）に同意（了解）をとりつける必要がある。</p> <p>また、現在、見守りカメラが設置されたお部屋でしか、見守りロボットの効果が得られない。よって、効果は限定的であり、色々な部屋にカメラを手軽に移動させ、見守りが可能となれば、もっと有効利用につながるものとする。</p>		